

いっばだより



2019 年度 No. 2

はじめのいっば弥生

2019年5月16日

ごあいさつ

いっば広場一面に、タンポポの花が咲き乱れ、青い空、美味しい空気に子どもたちの歓声・・・

新めて幸せさを 感じている日々ですが、皆様には、お変わりありませんか？」

数日前、隣のアパートに暮らす 80 歳の
おばあちゃんが、重たい玉ねぎを抱え
いっばに来てくれました。

お礼のあいさつをすると 「私ね、足腰
痛くてどこにも行けないけれど、部屋に
居ると子どもたちの元気な声が聞こえて
きてガンバロウ!! と思う気持ちになるの」
との事、なんとも温かい言葉が心に沁み
より一層地域との交流を深めようと強く
思うひとときでした。



ありがたいは、奇跡のことば 口に出せば元気が出る

耳にすれば勇気がわく ありがたいの言葉に出会えると・・・

大型連休中に読んだ詩に感動したある日、3月までいっばに通所し、4月から
大きな集団に移行したお友達のお父さんより電話があり、3歳の女の子の訃報を
知りました。

突然のことで言葉もなく自宅へお参りに行くと、食欲もなく嘔吐を繰り返し亡く
なる数時間前にわずか 10ml のジュースを飲み “おいしい” “ありがとう” とお
別れの言葉で旅立ったそうです。

小さな体で振り絞るように言った “ありがとう” 生きていることが当たり前
に思っではいけない。

“今” この瞬間を大事にすべてに “ありがとう!! ” の気持ちで暮らしていく
ことの大切さを教えてもらいました。



心よりご冥福をお祈りいたします。

代表 石橋 わか子

ある日の療育風景（小・中学生編）

近所の庭先では色とりどりの花が咲き「きれいだねー」と散策時に眺めていましたが、
いっばにもみんなで“花を植えよう!!”と目的を決め、活動開始!!



- ・土を耕すチーム
- ・いっば看板のところに土を運ぶチーム
- ・花を買いに行き植えるチーム

みんなで力を合わせなければ出来ない一連の仕事。好天にも恵まれ午前中に仕事終了。



働いた後は「おなかすいた～」と室内に・・・
飛び切り美味しい手巻き寿司が用意されており、みんなで協力し成し遂げた達成感で心も体も満腹になりました。



日々の生活では「花に水をやらなきゃ・・・」と、ともだちといっしょに地下水をくみ上げ、花に水をあげるなど自主的に行動する子どもたちが増えております。



指示・命令されて行動するではなく、自ら考え考動（行動）する子どもたち 素敵ですね。



親子でいっば



5月16日(木)、親子でいっばを行いました。

パパ、ママがいると嬉しくていつもの様子が伝わらないと思いスライドで日々の生活を紹介しました。



その後は懇談会、少しずつ友達関係が芽生えつつあること、食事を運ぶお手伝いもできるようになったこと・・・等々



話は尽きませんが、おうちでの様子を聞くと食事に悩むご家庭が多く、先輩ママが「一人目の子はそうそうと共感。二人目は…」「私なんか折角作ったのに食べてくれないから泣いたよ～」とアドバイスしてくれて目の前が明るくなった雰囲気でした。

“食事の大切さ!!”を確認し看護師のお母さんより「腸の働きが大切…」と専門的な話を聞くことができた。時間はアッ!!という間に過ぎました。

昼食は、ママの作った料理 とびきり美味しかったね。

日々の生活の大切さ

2歳児ならではの“我が道を行く!!”5人の子どもたちでしたが、ある日みんな一緒に滑り台に集まり「滑る順番を待つ・・・」など友達を意識する力が芽生えています。

言葉が出にくい、食が細いなど悩みはあるけれど人と比べず、我が子を受け止めゆっくり・じっくり見守っていきましょうね。



その他の活動

大豆の種を植えました。

料理研究家の 辰巳芳子さんの「大豆 100 粒うんどう」に賛同し、今年も一人3粒の大豆の種を植えました。

“芽吹いた時の感動” 成長する過程を観察し絵を描いたり、収穫した枝豆の数を数える・・・など、大豆を通し学ぶことが沢山。

例年大豆を利用し味噌造りなども行っております。



いっぽ食堂 バーベキューパーティに来てね

6月22日(土) 11:00～12:30ごろまで・・・

新たな環境で頑張っているお友達 ご近所さん・・・ もちろん、いっぽのお父さんお母さんに、お友達。みんなでワイワイガヤガヤ楽しい時間を過ごしませんか。

(詳しくは、事前に渡しましたチラシをご覧ください)

仲間がいっぱい！

新しい お友だちも少しずつ いっぽになれてきました。
ご安心くださいね。



	今後の予定
5月18日(土)	岩内畑 芋種まき
5月20日(月)	理事会
5月25日(土)	定期総会(15時までの療育にご協力ください)